



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和3年10月18日
第 13 号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

大成功 生き生きフェスティバル



生き生きフェスティバルは、今年度も児童鑑賞日（10/8）と保護者鑑賞日（10/9）を別日に設定し、人数制限を設けて実施しました。

お子さんの発表はいかがだったでしょうか。今年度はことあるごとに「～たい」を話題に挙げ、自らの思いや願いをもとに動き出すことの大切さを子どもたちに伝えてきました。それがどの学年も存分に発揮された発表内容となっており、頼もしさを感じました。

子どもたちの様子で印象に残ったのは、保護者鑑賞が始まる前に予想以上に緊張しているようだったことと、発表後にたくさんの拍手をいただいて嬉しそうにしていたことです。やはり、子どもたちにとって多くの人に見てもらおう場というのは特別なものであり、こ

の生き生きフェスティバルはすばらしい学びの場となっていると実感しました。人前で表現して伝えることの楽しさを子どもたちなりに感じる事ができたはずですので、称賛しながら自信につなげていきたいと思えます。

こうして、皆様のご理解、ご協力のおかげで、無事開催することができましたこと、感謝申し上げます。また、PTA 会長さんをはじめ常任委員の方々には、用具の出し入れ等ご尽力いただき、ありがとうございました。

磐梯町連合小学校修学旅行～新潟方面～

感染拡大防止のため6月から延期となっておりました6年生の修学旅行ですが、行き先も仙台方面から新潟方面に変更し、10月14日、15日の2日間で実施しました。

1日目、新潟県立自然科学館では、活動班で展示物の見学や体験を行いました。科学の不思議さに興味をもって学習する姿が見られました。マリンピア日本海ではイルカショーを楽しんだ後、活動班ごとに生き物の生態について関心をもって見学していました。また、磯遊びの時間も設けました。これは、昨年度いわきに行けなかった子どもたちに少しでも海で楽しむ経験をさせたいという思いから組み入れたものです。夕焼けをバックに歓声をあげて活動する様子が印象的でした。楽しみにしていた宿舎は「ホテルオークラ新潟」で、優雅な雰囲気の中で夕食をとった後は部屋でゆったりと休むことができました。

2日目、新潟せんべい王国でのせんべい焼き体験や新潟ふるさと村での買い物を経て、午後はサントピアワールドでの活動となりました。一小の子どもたちともすっかり仲よくなり、残り時間を惜しむようにギリギリまで楽しんでいる様子が印象的でした。

今回の修学旅行ではマスクの着用や手指消毒の徹底等、感染対策をして臨みました。こうして全員元気に過ごすことができましたことに安堵しております。ご家族の皆様にも検温や健康観察等のご協力をいただき心より感謝申し上げます。



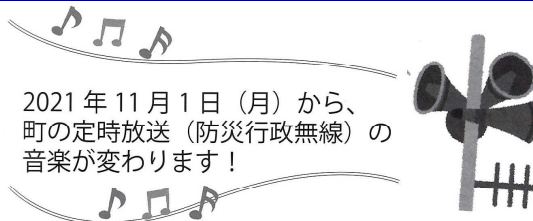
町の定時放送の音楽に磐梯二小の「オペラ座の怪人」!

演奏するからにはたくさんの方にお聴きいただくことが何より幸せなものです。全会津小中学校音楽祭は無観客実施で、磐梯町幼稚園、小・中学校音楽祭が中止となった今年度ですが、磐梯二小にとってとても嬉しいニュースがありました。

町のご配慮により、全会津小中学校音楽祭で演奏した時の「オペラ座の怪人」を定時放送の音楽として流して下さることになったのです。終盤が壮大なクライマックスとなるように子どもたちが特に思いを込めて演奏していた部分を採用していただきました。18:00の雰囲気にもピッタリであると思います。

コロナ禍だからと嘆くばかりでなく、こんな時だからこそそのアイデア。そして、子どもたちの思いを大切にしてくださる磐梯町の皆様のお心遣い。これらに感激すると同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちにとって大いに励みになることでしょう。

11月1日(月)をぜひ楽しみしていただければと思います。



2021年11月1日(月)から、町の定時放送(防災行政無線)の音楽が変わります!

町の方より「ある自治体では、夕方5時の定時放送に地元中学校吹奏楽部の演奏を流しているそうです。コロナ禍で発表の機会が少ない生徒たちも、これだったらモチベーション上がるわなあ。磐梯町でもやらないかなあ。」とお声をいただき、実現することになりました。

♪流れる楽曲はこちら

12:00 磐梯中学校 「ソロモンの指輪」
18:00 磐梯第二小学校 「オペラ座の怪人」

町の子どもたちが一生懸命演奏している音楽を、是非お楽しみいただければと思います。

※放送は、半年間を予定しております。以降の楽曲等については、改めて弘報等ご案内いたします。

※放送試験の結果により、楽曲・放送順が変更となる場合があります。

◆問い合わせ先 デジタル変革戦略室 ☎0242-74-1221

「磐梯弘報令和3年10月号 No.693」より

外部講師の積極的活用

専門知識を有する方のお話を伺ったり、体験をしたりすることで、学びは広がったり深まったりするものです。磐梯二小は、こんな出前授業の講師を招聘できたらと願った時に、積極的に実現しやすいというメリットがあり、積極的に活用しています。10月もこれまでに二つの外部講師招聘授業を実施していますのでご紹介します。

＜JFAキッズサッカー＞ 10月13日(水)

1～4年生が参加し、JFAの2名の講師によるサッカー教室を行いました。ボールに慣れ親しむための面白い取組をたくさん体験する中で、ボールと仲よしになれました。



＜獣医師派遣事業＞ 10月15日(金)

1～5年生が参加し、5匹の犬とのふれあいを通じた授業を行いました。獣医技師の方の話やふれあい体験を通して、命の大切さや相手を思いやる気持ちについて考えることができました。



ちょっといい話 6

毎朝登校の様子を見ていると、あいさつの仕方にもお子さんによっていろいろと個性があります。そんな中で、わざわざ立ち止まりこちらに向きを変えてあいさつをしてくれる1年女子児童がいます。

学校でそのように指導したわけではありません。そのお子さん自ら行っている丁寧なしぐさであり、それを見ても思わず嬉しい気持ちになり、何かよい1日になるような感じがしてきました。

実際に、どんな気持ちであいさつをしているのか、そのお子さんに聞いてみました。すると、「(そのようなあいさつをする)相手の人が喜んでくれて嬉しい」という言葉が返ってきました。相手を思い、自分で考えて行動できていることに驚きます。

磐梯ステップアッププランとして一小・二小共通の「めざす子どもの姿」を九つ設定していますが、その一つ目が「心を込めてあいさつ・返事をする子」となっています。「元気に」でなく「心を込めて」というところがポイントです。このすてきな事例を基に、機会をみて全校で「心を込めて」の意味を見つめなおしてみたいと思います。

